

【NEWS RELEASE】

2019年11月29日

各位

株式会社三井住友銀行

NECキャピタルソリューション株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、NECキャピタルソリューション株式会社（代表取締役社長：今関 智雄）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回のNECキャピタルソリューション株式会社に対する評価結果は、「ローカル/グローバル・コミュニティへの配慮」、「環境配慮型の製品・サービスにおける取組」、「従業員への配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において大変優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高い、最上位評価の取得となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

秋田県でタマネギ栽培の事業化を進められ、農閑期における地域雇用創出や遊休農地の利活用などによる農業生産性の向上を通じて、地方創生に貢献する姿勢を明確にしておられる点

エネルギー関連の新事業として、地域新電力会社への出資や、バイオマス発電・水素ステーション等への出資を継続し、エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの利用を促進することで、持続可能な社会の実現に貢献しておられる点

有給休暇取得率や育児・介護休職制度等の利用実績、月平均残業時間の実績値をホームページや統合報告書で開示するなど、従業員の働き方に関する情報開示を進めておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標2 飢餓をゼロに」「目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」等の達成に向けて明確な意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客様のESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。